

NO.4

教育・福祉の充実と子育て支援による安心して子どもを産み育てる元気なまち

将来を担っていく子どもたちを心身ともに健やかに育てあげることは地域全体の努めであり、そのための環境づくりは緊急な行政課題のひとつです。

人口減少の大きな理由のひとつとされる少子化に対応して、不妊治療に対する助成やこども医療費助成制度を新たに設け、経済的な負担の軽減を図るとともに、留守家庭児童クラブの拡充などにより、安心と喜びを感じながら子育てができる環境づくりに努めます。

また、子育て支援について、市民や事業所など地域をあげた取り組みとして充実させるため、新たに基金制度を設け、今後幅広い活用を図ります。



建設中の新給食センター

●母子保健事業

母子保健法に基づき、妊産婦の健康管理と乳幼児および児童が心身ともに健やかに育つことをめざし、健康診査、訪問指導などを行います

・妊婦乳児健康診査事業	987万円	財源：市987万円
・1歳6か月児健康診査事業	86万円	財源：市 86万円
・母子健康手帳交付事業	5万円	財源：市 5万円
・3歳児健康診査事業	124万円	財源：市124万円

●不妊治療エンゼルサポート事業

75万円

不妊治療における人工授精・高度生殖医療は健康保険適用外であるとともに、治療費が高額であることから、その治療費の一部を助成し、不妊で悩む家庭の経済的負担の軽減を図ります

問合先 健康づくり課 財源：市75万円

●親子ふれあい交流事業

5万円

健康づくり週間に、次世代育成支援の一環として、親子のふれあいや食育に関する催しを実施します

○事業内容 親子でたのしい運動、ふれあいクッキング、育児相談など

問合先 健康づくり課 財源：国2.5万円 市2.5万円

●思春期における保健福祉体験学習事業

5万円

思春期の生徒に対し、性教育などに関する講演会や赤ちゃんとのふれあい体験実習を実施し、生命の尊厳や父性母性の育成を図ります

問合先 健康づくり課 財源：県3万円 市2万円

●新給食センター管理運営事業

1億6,084万円

9月から操業を開始する新給食センターの運営および維持管理を行います

問合先 体育保健課 財源：県745万円 市1億5,339万円

●一時保育促進事業

479万円

保育園児でない在宅の乳幼児を一時的に保育所において保育します

問合先 福祉課 財源：県319万円 市160万円

●延長保育促進事業

480万円

保護者の就労時間などに対応するため、保育園の開所時間（11時間）を超えて30分の延長保育を行う保育園に対し補助を行います

問合先 福祉課 財源：国240万円 市240万円

●乳幼児医療費助成事業

6,272万円

3歳未満の乳幼児の医療費について助成を行います

問合せ 福祉課 財源：県3,103万円 福祉基金繰入金2,000万円
乳幼児医療費高額療養費受入金38万円 市1,131万円



●幼児インフルエンザ予防接種費助成事業

210万円

小学校就学前幼児のインフルエンザ予防接種に要する費用の一部を助成し、保護者の負担軽減を図ります

問合せ 福祉課 財源：市210万円



黒川児童クラブ(H17建設)

●こども医療費助成事業

215万円

3歳～小学校就学前のこどもについて、入院時の医療費に係る自己負担額の一部を助成します

問合せ 福祉課 財源：市215万円

●留守家庭児童クラブ専用施設整備事業

2,293万円

立花児童クラブ専用の施設を建設します

問合せ 教育総務課 財源：県847万円 市債1,070万円 市376万円



波多津小学校一輪ピック

●特色ある学校創造事業

400万円

教育活動に関する予算の用途について学校長の裁量の幅を広げることにより、創意工夫を生かした教育活動を行い、学校の自主性、自律性を向上させ、特色ある学校づくりを推進します

問合せ 学校教育課 財源：教育振興奨励基金繰入金400万円



●ブックスタート事業

71万円

生後3か月を迎えた赤ちゃんとその保護者に対し、3か月健診の折に絵本を渡すとともに、ボランティアによる読み聞かせを行います

問合せ 市民図書館 財源：市71万円

●子育て応援基金

100万円

市民と協働で子育て応援活動を推進するため、子育て応援基金を設置します

問合せ 福祉課 財源：寄附金100万円



●都市公園整備事業

3,268万円

伊万里ファミリーパークの整備を引き続き行います

問合せ 都市開発課 財源：国1,500万円 市債1,650万円 市118万円

